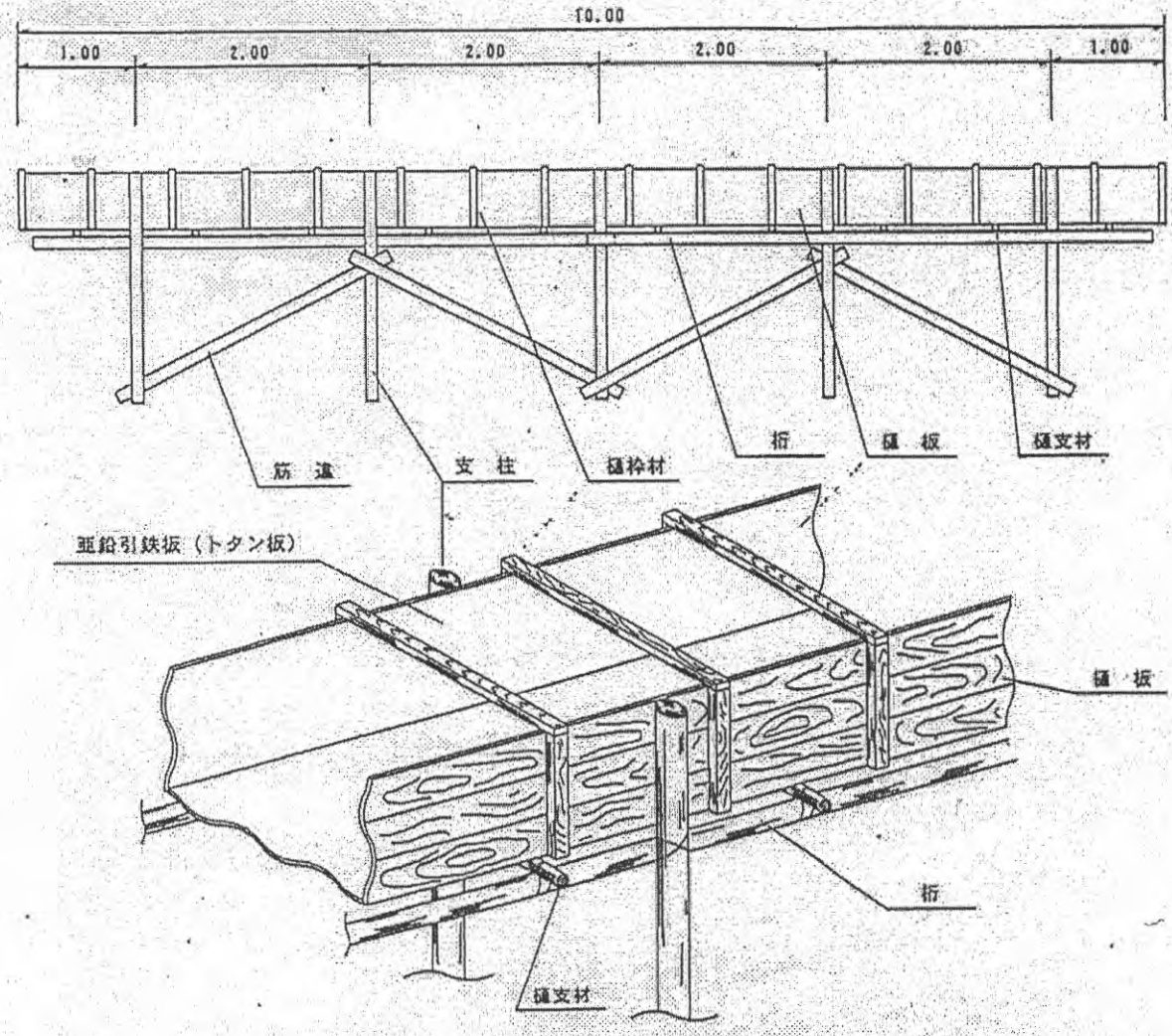
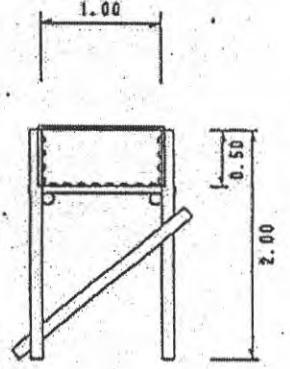


排水樋概念図 (樋幅1.00m 深さ0.50m 架設高2.00m)



植幅1.0m 深さ0.5m 仮設高2.0m

名称	規格	形状・寸法	数量	単位	単材積 (m3)	材積 (m3)	備考
支柱	マツ丸太	D=0.10, L=2.00	10.00	本	0.020	0.20	
桁	マツ丸太	D=0.10, L=5.00	4.00	本	0.050	0.20	
筋交い	スギ二つ割	0.105×3.8	0.07	m3	0.018	0.07	10m当り4本使用 (0.018×4)
植支材	スギ丸太	D=0.09, L=1.20	10.00	本	0.010	0.10	
植枠材	板	2.1×0.03×0.06	0.07	m3	0.004	0.07	10m当り17本使用 (2.00×0.03×0.06)
植板	マツ板	1.80×0.18×0.015	0.31	m3		0.31	1.5%割増 (2.00×10.0×0.015×1.015)
鉄板	亜鉛引き	0.3×914×1829	12.34	枚			3.0%割増 (20.00/(0.914×1.829)×1.03)
釘	各種		1.62	kg			m当り0.081kg使用 (20.00×0.081)
結束鉄線	なまし鉄線	4.0mm (#8)	5.00	kg			m当り0.5kg使用 (10.00×0.5)

労務歩掛

名称	単位	数量
大工	人	1.00
普通作業員	人	2.50

植幅0.8m 深さ0.4m 仮設高2.0m

名称	規格	形状・寸法	数量	単位	単材積 (m3)	材積 (m3)	備考
支柱	マツ丸太	D=0.10, L=2.00	10.00	本	0.020	0.20	
桁	マツ丸太	D=0.10, L=5.00	4.00	本	0.050	0.20	
筋交い	スギ二つ割	0.105×3.8	0.07	m3	0.018	0.07	10m当り4本使用 (0.018×4)
植支材	スギ丸太	D=0.09, L=1.20	10.00	本	0.010	0.10	
植枠材	板	2.1×0.03×0.06	0.05	m3	0.003	0.05	10m当り17本使用 (1.60×0.03×0.06)
植板	マツ板	1.80×0.18×0.015	0.24	m3		0.24	1.5%割増 (1.60×10.0×0.015×1.015)
鉄板	亜鉛引き	0.3×914×1829	9.87	枚			3.0%割増 (16.00/(0.914×1.829)×1.03)
釘	各種		1.30	kg			m当り0.081kg使用 (16.00×0.081)
結束鉄線	なまし鉄線	4.0mm (#8)	5.00	kg			m当り0.5kg使用 (10.00×0.5)

労務歩掛

名称	単位	数量
大工	人	0.80
普通作業員	人	2.50

植幅0.5m 深さ0.3m 仮設高1.5m

名称	規格	形状・寸法	数量	単位	単材積 (m3)	材積 (m3)	備考
支柱	マツ丸太	D=0.10, L=2.00	10.00	本	0.020	0.20	
桁	マツ丸太	D=0.10, L=5.00	4.00	本	0.050	0.20	
筋交い	スギ二つ割	0.105×3.6	0.07	m3	0.017	0.07	10m当り4本使用 (0.017×4)
植支材	スギ丸太	D=0.09, L=1.20	7.00	本	0.010	0.07	
植枠材	板	2.1×0.03×0.06	0.03	m3	0.002	0.03	10m当り17本使用 (1.10×0.03×0.06)
植板	マツ板	1.80×0.18×0.015	0.17	m3		0.17	1.5%割増 (1.10×10.0×0.015×1.015)
鉄板	亜鉛引き	0.3×914×1829	6.78	枚			3.0%割増 (11.00/(0.914×1.829)×1.03)
釘	各種		0.89	kg			m当り0.081kg使用 (11.00×0.081)
結束鉄線	なまし鉄線	4.0mm (#8)	4.00	kg			m当り0.4kg使用 (10.00×0.4)

労務歩掛

名称	単位	数量
大工	人	0.55
普通作業員	人	1.75

排水樋 資材数量表

植幅0.3m 深さ0.2m 仮設高1.5m

名称	規格	形状・寸法	数量	単位	単材積 (m3)	材積 (m3)	備考
支柱	マツ丸太	D=0.10, L=2.00	10.00	本	0.020	0.20	
桁	マツ丸太	D=0.10, L=6.00	4.00	本	0.050	0.20	
筋交い	スギ二つ割	0.105×3.6	0.07	m3	0.017	0.07	10m当り4本使用 (0.017×4)
植支材	スギ丸太	D=0.09, L=1.20	3.50	本	0.010	0.04	
植枠材	板	2.1×0.03×0.06	0.02	m3	0.001	0.02	10m当り17本使用 (0.70×0.03×0.06)
植板	マツ板	1.80×0.18×0.015	0.11	m3		0.11	1.5%割増 (0.70×10.0×0.015×1.015)
鉄板	亜鉛引き	0.3×914×1829	4.32	枚			3.0%割増 (7.00/(0.914×1.829)×1.03)
釘	各種		0.57	kg			m当り0.081kg使用 (7.00×0.081)
結束鉄線	なまし鉄線	4.0mm (#8)	4.00	kg			m当り0.4kg使用 (10.00×0.4)

労務歩掛

名称	単位	数量
大工	人	0.35
普通作業員	人	1.75

## 水替日数の算出について（H18・19改正）

作業日当たりの標準作業量については以下を参考とされたい。

### 1 床掘

#### 1) 人力床掘の場合

$$a = M / n$$

M：床掘所要人員

水替所要部分の床掘数量区分毎にそれぞれの歩掛（人）を乗じて得た総和とする。

n：床掘所要1日当たり在場可能人員

（谷止工5～8人、石積及びよう壁4人/10m）

a：水替所要日数

#### 2) 機械床掘の場合

##### ①土砂掘削（バックホウ等による）（H19改正）

$$a = V / q$$

q：1時間当たり作業量の算出×T時間/日  
=1日当たり作業量

T＝年間標準運転時間÷年間標準運転日数

T＝BH0.1m<sup>3</sup>のとき5.6時間/日

V：水替所要掘削量

##### ②岩盤掘削（コンプレッサー〔削岩機等〕による）

$$a = V / q$$

q：1日当たり作業量

V：水替所要掘削量

（バックホウ等による排土作業）

$$a = V / q$$

q：1日当たり作業量

V：水替所要掘削量

#### 3) ベルトコンベア、小車運搬等の排土作業は水替日数に考慮せず

### 2 コンクリート打設

#### 1) 人力、クレーン車打設の場合

運搬時間、1日の打設回数を参考とし、打設計画により現場毎に算出する。

（索道使用の場合は、索道1日当たりの運搬量から算出）

#### 2) ポンプ車打設の場合

$$a = V / q$$

q：1日当たり標準打設量（m<sup>3</sup>/日）

V：水替所要打設量

3 型枠組立 (H19改正)

$$a = V/q \quad q: \text{1日当たり} 19\text{m}^2 \text{とする (無筋・鉄筋構造物型枠)}$$

H18必179 (100m<sup>2</sup>÷15.7人(型枠工) ×3人 = 19.1m<sup>2</sup>)  
1日当たり15m<sup>2</sup>とする(鋼製型枠)

H18必550 (10m<sup>2</sup>÷2.0人(普通作業員) ×3人 = 15.0m<sup>2</sup>)  
1日当たり35m<sup>2</sup>とする(間伐材型枠)

細部基準歩掛 (100m<sup>2</sup>÷8.5人(普通作業員) ×3人 = 35.2m<sup>2</sup>)  
1日当たり22m<sup>2</sup>とする(小型構造物型枠)

H18必179 (100m<sup>2</sup>÷13.5人(型枠工) ×3人 = 22.2m<sup>2</sup>)

V: 水替所要数量

4 ブロック積等 (H19改正)

$$a = V/q \quad q: \text{1日当たり} 25\text{m}^2 \text{とする (トラッククレーン)}$$

H18必290 (10m<sup>2</sup>÷1.2人(普通作業員) ×3人 = 25.0m<sup>2</sup>)  
1日当たり21m<sup>2</sup>とする(ケーブルクレーン)

H18必290 (10m<sup>2</sup>÷1.4人(普通作業員) ×3人 = 21.4m<sup>2</sup>)  
1日当たり17m<sup>2</sup>とする(人力)

H18必290 (10m<sup>2</sup>÷1.8人(普通作業員) ×3人 = 16.6m<sup>2</sup>)

V: 水替所要数量

5 基礎碎石 (機械施工)

$$a = V/q \quad q: \text{1日当たり} 155\text{m}^3 \text{とする}$$

V: 水替所要数量

6 基礎碎石 (人力施工)

$$a = V/q \quad q: \text{1日当たり} 17\text{m}^3 \text{とする}$$

H18必312 (10m<sup>3</sup>÷1.8人(普通作業員) ×3人 = 16.7m<sup>3</sup>)

V: 水替所要数量

7 構造物の水替所要量の算定

構造物の流水面以下の数量を水替所要数量の原則とする

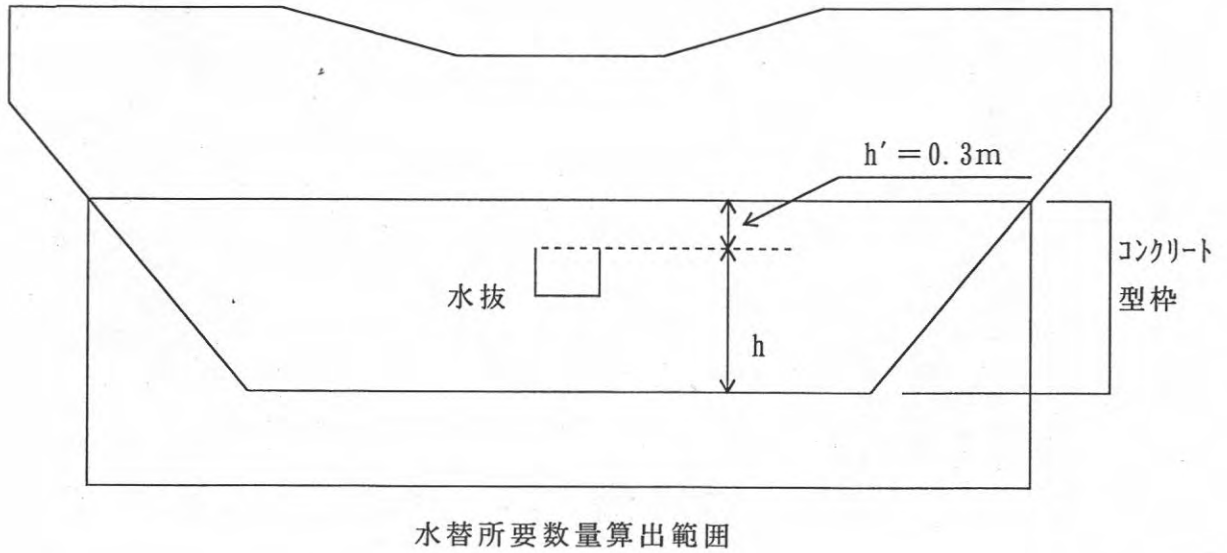
1) 治山ダム工等の場合

水抜が仕上がる高さ+0.30mまでとする (h+h')

2) 水路工、護岸工等の場合は流水面+0.30mまでの数量とする (h+h')

8 日数算出は小数点2位四捨五入とし、小数点以下1位止めとする

(例1) 治山ダム工等の場合



(例2) 水路工、護岸工等のブロック積等の場合

